

2024 Peace Music Festival in Tokyo

韓国が世界に誇る指揮者クム・ナンセ (Gum Nanse)

解説付き公演を3日間開催

駐日韓国文化院は、韓国が世界に誇る指揮者クム・ナンセ (Gum Nanse) が解説する韓国の若い室内楽アンサンブルとチェンバー・オーケストラのコンサートを3日間開催します。

1回目の舞台 (5/13) は、ハーモニカとギター、ピアノが調和するトリオ演奏と、韓国のクラシック界の新星によるヴァイオリン、チェロ、ピアノの演奏をお届けします。2回目の舞台 (5/14) は、2021年にアメリカのフィショフ室内楽コンクールで韓国人初のシニア・ストリング部門優勝および全部門大賞を受賞した、弦楽四重奏<リーズス・クアルテット (Risus Quartet)>のアンサンブル演奏を披露します。最後の3回目の舞台 (5/16) は、クム・ナンセの指揮の下、若くて有能なくニューワールド・チェンバー・オーケストラ演奏者たちが共演を繰り広げます。

近年、韓国のクラシック音楽が存在感を高めていますが、それは若手アーティストを育て、クラシック音楽の大衆化に力を入れてきた音楽家たちの努力が実を結んだ結果といえます。その音楽家の一人であるクム・ナンセさんがリードする今回の舞台を通して韓国のクラシック音楽をぜひご堪能ください。

つきましては、本イベントの周知にご協力をお願いします。写真資料、出演者の詳しいプロフィールなどのご依頼、ご取材のお申込については、韓国文化院までご連絡ください。

★マスコミの方々でご観賞をご希望の方にはお席をご用意いたしますので、
メール 《 pr@koreanculture.jp 》までご一報ください。



【イベント概要】

- 行事名 : 2024 Peace Music Festival in Tokyo
- 日時 : 2024年5月13日(月)、14日(火)、16日(木)
いずれも19時開演(18:30開場) ※3回公演、小学生以上観覧可
- 会場 : 駐日韓国文化院 2F ハンマダンホール
(東京都新宿区四谷 4-4-10)
- アクセス : 東京メトロ丸ノ内線 四谷三丁目駅より徒歩5分
- 内容 : 韓国が世界に誇る指揮者クム・ナンセ (Gum Nanse) が解説する室内楽アンサンブルとチェンバー・オーケストラ公演
- 主催 : 駐日韓国大使館 韓国文化院 / 主管 : Birdhouse Creatives
- 後援 : KJE (韓日経済協会)

■ 観覧について : 無料、事前申込制、各回300名募集

— 締切 : 4/21 (日)、韓国文化院 HP [www.koreanculture.jp] よりお申込いただけます。

«お問い合わせ» 駐日韓国大使館 韓国文化院 ☎03-3357-5970 www.koreanculture.jp

イベント担当 朴志勲 (パク・ジフン) / 広報担当 趙恩京 (ジョ・ウンギョン)

【プログラム】 ※プログラムは諸事情により変更になる場合があります。

◆すべてのプログラムは指揮者のクム・ナンセさんが進行を務め、音楽について解説します◆

Day 1] 5月13日 (月)

ヴァイオリン *Kim Dayeon*、チェロ *Choi Ahyeon*、ピアノ *Choi Isak*、ハーモニカ *Lee Yoonseok*
ギター *Ji Ikwhan*、ピアノ *Kim Kikyung*

Ysaÿe – Sonata for Violin Solo No. 3 in d minor, “Ballade”, Op. 27

Cassadó – Requiebros

Handel/Halvorsen – Passacaglia

Moody – Bulgarian Wedding Dance

Brouwer – Un Dia de Noviembre

Filmmusic Improvisation

Piazzolla – Libertango

Day 2] 5月14日 (火)

リーゾス・クアルテット (ヴァイオリン *Lee Haeni* / ヴァイオリン *Yoo Jieun* / ヴィオラ *Chang Eunkyung* / チェロ *Ma Yukyung*)、ユーフォニアム 新井秀昇, チューバ *Munn Zeewoong*

Beethoven – String Quartet in C Major, Op. 59, No. 3

Graham - Brillante for Two Euphoniums

Day 3] 5月16日 (木)

ニューワールド・チェンバー・オーケストラ、ヴァイオリン *Kim Dayeon*、ハーモニカ *Lee Yoonseok*、
ギター *Ji Ikwhan*

Grieg - Holberg Suite, Op. 40, 1st mov.

Piazzolla - ‘Summer’ from The Four Seasons of Buenos Aires

Holst - ‘Jig’ from St. Paul’s Suite

Moody – Bulgarian Wedding Dance

Jenkins – Palladio

Dyens – Tango en Skai

Respighi – Ancient Aires and Dances, Suite No. 3, 4th mov. ‘Passacaglia’

【出演】



Gum Nanse (クム・ナンセ / 音楽監督・指揮)

ソウル大学卒業後、ベルリン音楽大学 (現、ベルリン国立音楽大学 UdK) にて H.K. ラーベンシュタインに師事。1977 年カラヤン国際コンクールで入賞後、ヨーロピアン・マスター・オーケストラの音楽監督兼専任指揮者を歴任、モスクワ・フィルハーモニー・オーケストラ、ドイツ・カンマ・オーケストラなどヨーロッパ各地で活躍。韓国の KBS 交響楽団の専任指揮者、水原市立交響楽団、京畿フィルハーモニー・オーケストラ、仁川市立交響楽団の常任指揮者を歴任し、1998 年にはベンチャー・オーケストラである「ユーラシアン・フィルハーモニー・オーケストラ」を設立した。2013 年からはソウル芸術高校の校長に着任し、後輩育成に尽力している。長きにわたる芸術を通じた国際

交流への貢献が認められ、2017 年には駐韓スロバキア名誉総領事に任命。韓-露対話財団、韓-チェコフォーラム、ソウル芸術高校-東京音大交流など、国際的な文化芸術交流に大きく貢献する活動を続けている。

Kim Dayeon (キム・ダヨン / ヴァイオリン)

ソウル芸術高校首席入学。朝鮮日報コンクール最年少受賞、第 14 回新韓音楽賞、第 68 回梨花京郷コンクール 1 位、金浦フィルハーモニー管弦楽団コンクール弦楽部門全体賞、第 22 回 CBS 音楽コンクール弦楽部門全体最優秀賞などを受賞。現在はソウル大学在学中。



Choi Ahyeon (チェ・アヒョン / チェロ)

韓国芸術英才教育院を経て、韓国芸術総合学校入学。

13 歳で大阪国際コンクール 1 位、ジャーナリスト賞、パリ音楽フォーラム賞三冠受賞。ベルギーイザイ国際音楽コンクール 1 位、シカゴ国際コンクール大賞、ベルリン・ライジングスター国際コンクール 1 位など数々を受賞。現在は韓国芸術総合学校在学中。





Choi Isak (チェ・イサク / ピアノ)

2019年第5回いしかわ国際ピアノコンクール優勝、第2回NAVERクラシックアーティストリーグ優勝、梨花京郷コンクール、東亜ジュニアコンクール、イタリア・ブゾーニ国際ピアノコンクール、ミュンヘン国際音楽コンクールなど、国内外コンクールで多数受賞。現在はピアニスト キム・ジョンウォンに師事し、活発に演奏活動中。

Lee Yoonseok (イ・ユンソク / ハーモニカ)

ソウル大学音楽大学作曲科を首席で卒業。ノルウェー音楽院 (Norges musikkhøgskole) にハーモニカ専攻で入学し、世界的ハーモニカ奏者ジグムンド・グロブ (Sigmund Groven) に師事。世界ハーモニカ大会やアジア太平洋ハーモニカ大会で受賞。現在は明治大学文化芸術大学院客員教授。



Ji Ikwhan (ジ・イクワン / ギター)

ソウル大学音楽大学器楽科 (クラシックギター専攻) 卒業。韓国の若手ギタリストとして注目を集め、ソウルフィルハーモニー管弦楽団コンクール1位、中国深圳国際コンクール2位、バロック合奏団コンクール3位など、数々のコンクールで入賞。現在はギタートリオ Project54 のリーダーとして活躍。

Kim Kikyung (キム・キギョン / ピアノ)

韓国芸術総合学校芸術士及び芸術専門士課程、ドイツのハンスアイスラー音楽大学で MA 課程、ソウル大学音楽博士課程修了。KUMHO ヤングアーティスト独奏会、スペインのパテルナ国際ピアノコンクールなど国内外で多数受賞。ドイツのドキュメンタリー映画「Hello I am David」、創作音楽劇「狂炎ソナタ」などの音楽監督や瑞草交響楽団の編曲者などを努め、クラシックと他ジャンルを自在に行き来しながら、様々な分野で活動中。



Risus Quartet | リーズス・クアルテット



「リーズス」は、ラテン語で「笑顔」の意味。観客に音楽を通じて楽しさを提供したいという願いを込め、ソウル大学校の卒業生4人ーイ・ヘニ、ユ・ジウン、チャン・ウンギョン、マ・ユギョンが2020年5月に結成した弦楽四重奏団。2021年、アメリカのフィッシュボーン室内楽コンクールで韓国人初のシニア・ストリング部門優勝および全部門大賞を受賞した後、Darnton & Hersh Fine Violin の支援を受けてシカゴのガルネリ・ホールでレコーディングを行い、アメリカやイタリアツアー演奏など、世界での活動を開始。現在は、専門の弦楽四重奏団としての地位

を確立し、世界各地で活動を展開中。

Arai Hidenori (新井秀昇 / ユーフォニアム)

洗足学園音楽大学を首席で卒業。第5回Jeju国際金管コンペティション第3位、第26回日本管打楽器コンクール第3位、第7回津堅コンクール第1位、ITEA ロジャー・ボボ・アワード2023受賞の他、作曲作品が英国王立音楽検定 (ABRSM) の試験曲に採用される。洗足学園音楽大学講師、日本ユーフォニアム・チューバ協会常任理事、国際チューバ・ユーフォニアム協会理事。



Munn Zeewoong (ムン・ジウン / チューバ)

韓国慶熙大学、アメリカ南カリフォルニア大学、オーストリアザルツブルクモーツァルテウム音楽大学、ドイツミュンヘン国立音楽大学卒業。韓国芸術の殿堂アーティスト、米国 LA Metrobrass ソリスト、韓国錦湖文化財団ヤングアーティスト、ドイツミラポンチューバアーティスト。



New World Chamber Orchestra | ニューワールド・チェンバー・オーケストラ



1997年にソウル国際音楽祭を通じてユーラシアン・フィルハーモニックとしてデビューし、2014年にニューワールド・フィルハーモニック・オーケストラ (NWPO) に名称を変更。毎年、フィルハーモニック、チェンバー、ストリング、アンサンブルなど様々な編成のプログラムで30以上の地域で100回を超える演奏活動を行い、韓国を代表する国民オーケストラとしての名声を築いている。今回の公演では、弦楽器

で構成されたニューワールド・チェンバー・オーケストラが演奏を披露。